

施策の進捗管理シート

令和 3 年度

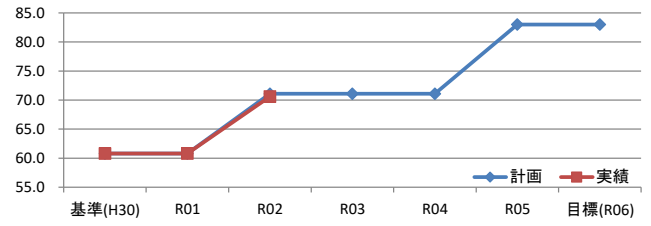
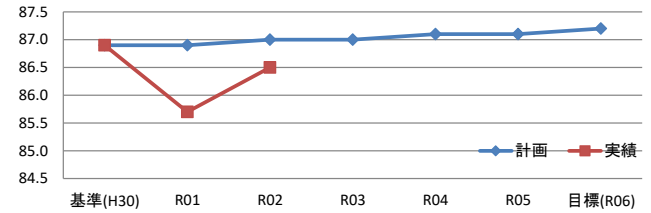
総合 体系 計画	分野	2	第2章	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	建築住宅課
	施策No.	13	施策名	安全で快適な住宅環境の充実	課長名 (施策統括責任)	川浪 敏明
	関係課	建築指導課 建築住宅課 高齢福祉課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、安全、快適で住みやすい居住空間を確保できている。
取組方針	安全で快適な居住環境の実現のため、高齢者等に配慮した住宅の整備を支援するとともに、住宅相談等の充実を図ります。市営住宅については、計画的な建替えや改善を行うとともに適正な供給に努めます。また、建築物の耐震性を確保するために耐震化の促進に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民					
意図□この施策によって対象をどう変えるのか	安全、快適で住みやすい居住空間を確保できていると感じる市民を増やす。					
成果指標 A						単位
住居が安全快適で住みやすいと感じている市民の割合						%
H30 基準	R01 計画実績	R02 計画実績	R03 計画実績	R04 計画実績	R05 計画実績	R06 目標
86.9	86.9 85.7	87.0 86.5	87.0	87.1	87.1	87.2
成果指標 B						単位
市営住宅の建替による老朽化住戸の改善率						%
H30 基準	R01 計画実績	R02 計画実績	R03 計画実績	R04 計画実績	R05 計画実績	R06 目標
60.8	60.8 60.8	71.1 70.6	71.1	71.1	83.0	83.0



3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	45.4%	44.7%	↓
ある程度重要である	40.1%	39.6%	↓
あまり重要ではない	5.5%	6.4%	↑
重要ではない	0.7%	0.6%	↓
順位	16/36位	15/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.1%	3.7%	↓
どちらかといえば満足	44.1%	44.3%	↑
どちらかといえば不満	29.7%	31.4%	↑
不満である	4.5%	4.5%	→
順位	17/36位	19/36位	↓